

地球温暖化対策実行計画の 進捗報告について

2026年7月27日



ZERO CARBON
HOKKAIDO
SETANA

内容

- ①地球温暖化対策実行計画の進捗報告について
 - 1. せたな町地球温暖化対策実行計画の進捗について
 - 2. 排出量削減に向けた今後の取り組み

- ②地域脱炭素化促進事業計画に係る認定について
 - 1. せたな町における地域脱炭素化促進事業の認定計画「(仮称)新瀬棚臨海風力発電所」の計画概要について

①地球温暖化対策実行計画の進捗報告について

1. せたな町地球温暖化対策実行計画の進捗について

- ✓ 基準年の平成25年度と比べ、軽油、A重油、LPG及び電気の使用量が減少
- ✓ ガソリン使用量増加の要因は、公用車台数の増加
- ✓ 灯油使用量増加の要因は、施設数の増加

調査項目	平成25年度 (2013年度)		令和5年度 (2023年度)		令和6年度 (2024年度)		令和7年度 (2025年度)	
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
ガソリン(L)	32,214	74,790	37,157	85,095	33,319	76,305	34,257	78,454
灯油(L)	144,655	360,115	173,618	434,511	183,043	458,099	190,315	476,298
軽油(L)	4,885	12,628	4,943	12,947	3,884	10,173	4,317	11,308
A重油(L)	608,779	1,649,566	278,580	766,882	255,600	703,622	236,630	651,401
LPG(m ³)	3,288	9,861	1,259	3,771	1,195	3,577	1,128	3,378
電 気 (kWh)	4,877,347	3,178,936	4,892,431	2,607,666	4,505,835	2,410,622	4,290,901	2,257,014
合計	5,671,168	5,285,895	5,387,988	3,910,871	4,982,876	3,662,398	4,757,548	3,477,852

①地球温暖化対策実行計画の進捗報告について

1. せたな町地球温暖化対策実行計画の進捗について

- ✓ 軽油、A重油、LPG及び電気の削減ができたことにより、2025年度の全体のCO₂排出量は、基準年から34.2%削減。
- ✓ 2024年度と比較して、2025年度は、3.5ポイント減となり、排出量を削減することができた。

	2013年度 (基準年)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
CO ₂ 排出量(kg-CO ₂)	5,285,895	3,910,871	3,662,398	3,477,852
基準年からの削減量	—	1,375,024	1,623,498	1,808,043
基準年からの削減率	—	26.0%	30.7%	34.2%
対策による削減量	—	648	651	883

①地球温暖化対策実行計画の進捗報告について

2. 排出量削減に向けた今後の取り組み

- ✓ 公用車の更新等にあたって、PHEV等のハイブリット自動車の導入
→令和7年度にかけて公用車の更新等にあたっては、PHEV等ハイブリット自動車の導入を実施している。令和8年度においても継続して実施する。
- ✓ PPA(電力購入契約)による太陽光発電設備導入
→町内公共施設のうち、三杉荘を対象としてPPAによる太陽光発電設備導入を検討している。
- ✓ 脱炭素化推進補助金の推進
→個人や事業者を対象とし、町内の住宅等に太陽光発電システムや蓄電池等を導入する方へ補助金交付制度を令和7年度に創設し、脱炭素化への機運醸成とゼロカーボンシティ実現を引き続き目指すものとする。

②地域脱炭素化促進事業計画に係る認定について

1. せたな町における地域脱炭素化促進事業の認定計画

「(仮称)新瀬棚臨海風力発電所」の計画概要について

認定日:2026年5月15日

この度、せたな町が認定した地域脱炭素化促進事業は、現在当町内にて(株)ジェイウインドが営業運転中の瀬棚臨海風力発電所の「2,000kW×6基」を、「4,000kW級×3基」に建替える計画です。

1. 再生可能エネルギー発電施設の整備の内容

(施設の種類：風力)

申請者

住所：東京都中央区銀座6丁目15番1号

氏名：株式会社ジェイウインド 代表取締役社長 加藤 正隆

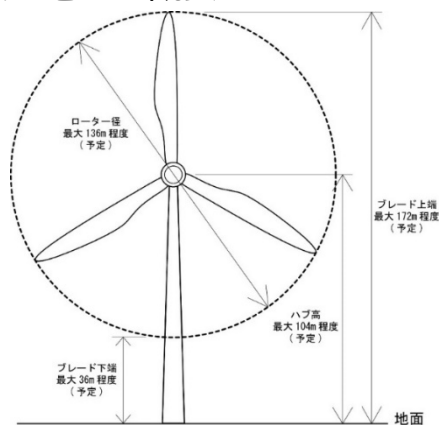
名称：(仮称)新瀬棚臨海風力発電所

区域：北海道久遠郡せたな町（3. 位置図のとおり）

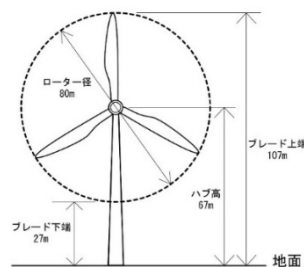
出力：最大12,000kW程度

年間発電量：約2,630～3,150万kWh（利用率25～30%想定、一般家庭約8,000世帯分相当）

付属設備：変電所、連系送電線(約5km)は既存設備を使用予定
風力発電機の概要：



更新する風力発電機（予定）
（4,000kW級×3基）



既設風力発電機
（2,000kW×6基）

2. 今後のスケジュール(予定)

事業認定取得：2026年度（現状）

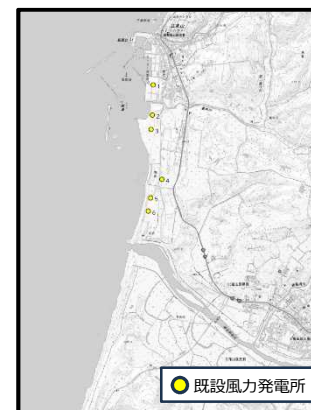
建設期間：2029年度

運転開始：2030年度

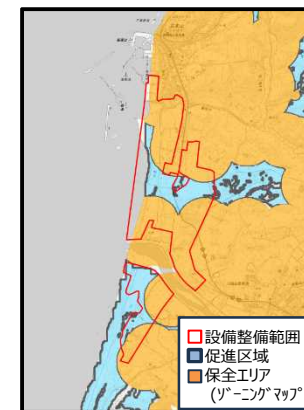
（20～25年の運転を想定）

※建設期間及び運転開始期間は、現時点の計画目標であり、今後の事業進捗により変更となる可能性があります

3. 位置図



既設風力発電所位置



更新する風力発電所計画地

※せたな町地球温暖化対策実行計画における促進区域内に位置する計画です

※設備整備範囲は、引き続き申請者により事業実施に向けた地権者協議及び各種許認可等の協議申請を経て決定されることから、現時点では非公表としています

②地域脱炭素化促進事業計画に係る認定について

1. せたな町における地域脱炭素化促進事業の認定計画

「(仮称)新瀬棚臨海風力発電所」の計画概要について

認定日:2026年5月15日

せたな町は、風力発電設備の更新を通じた温室効果ガス排出削減および地域の持続可能な発展となることを期待し、事業者から申請された、下記内容に基づく地域脱炭素化促進事業計画について、認定をいたしました。

4. 地域脱炭素化促進施設の設備と一体的に行う地域の脱炭素化のための取り組みの内容

1. 地域の脱炭素化のための取り組みの内容

(1)温室効果ガス削減効果

二酸化炭素において6,600～7,900 t-CO₂/年の削減見込み(※)で、2019年度のせたな町のCO₂総排出量の13%に相当します。

※設備容量(12,000kW)、設備利用率(25%～30%)、排出係数(0.000250t-CO₂/kWh)による。

(2)地域の脱炭素化のための取組の内容

得られる電気と収益を活用し「せたな町地域エネルギービジョン」に定める取り組みの推進に貢献します。

(主な取組例)

- ✓ せたな町ゼロカーボン推進基金への寄付を通じて地域住民の再エネ設備導入や農林業、漁業等での再エネ活用促進に貢献する
- ✓ 環境教育を目的とした風力発電施設見学受入を通じ、地域住民の環境意識醸成を図る
- ✓ 将来的な電気の地産・地消の実現に向けた検討を行い、ゼロカーボンシティ実現へ貢献する

2. 地域の持続的発展に係る事項

(1)地域の環境の保全のための取組

風力発電機の位置はせたな町“せたな町地球温暖化対策実行計画”と整合します。(促進区域に位置します)
また、以下の取組についても適切に実施します。

- ✓ 騒音および風車影の影響について極力低減するための対策の実施
- ✓ 自然環境保全のための地域の植生、野生動物の生態、水質等の調査と対策の実施
- ✓ 景観の保全の維持及び向上のための地域住民や有識者からの意見聴取の実施
- ✓ 安全性の確保のための風雨や地震等による風力発電設備の破損や土砂流出への対策の実施

(2) 地域の経済及び社会の持続的発展に資する取組

以下の取組を通じ、せたな町の持続的発展に貢献します

- ✓ 建設/保守時における地元業者の積極的な活用を通じた地元雇用の創出
- ✓ 将来に向けた人材教育を目的とした、学校教育の一環としての環境教育の実施